

エコアクション21

環境経営レポート 2023



株式会社 展示構成

対象期間 2023 年 8 月～2024 年 7 月

発行日 2024 年 12 月 17 日

目 次

1	弊社の組織概要・・・・・・・・・・	2
2	エコアクション21の対象範囲（認証・登録）・・・・・・・・	3
3	環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・	3
4	環境経営方針・・・・・・・・・・	4
5	環境経営目標・・・・・・・・・・	5
5-1	環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画一覧表	
5-2	環境経営目標の達成状況の確認（実績）	
5-3	環境経営目標の実績評価	
6	環境経営計画・・・・・・・・・・	8
6-1	環境経営計画の実施状況と取組結果の評価	
6-2	次年度の取組内容について	
7	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・	10
7-1	前回の指示への取組結果について	
7-2	今回の評価結果について	
7-3	今回の指示について	
8	記録の管理について・・・・・・・・	11
9	実施体制・・・・・・・・・・	12
10	次年度の環境経営目標及び環境経営計画・・・・・・・・	13

【1】弊社の組織概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 展示構成

代表取締役会長 吉村 勝博

(2) 所在地

本社事務所 〒120-0002 東京都足立区中川 4-10-20

本社第1倉庫 〒120-0002 東京都足立区中川 4-10-3

SS 八潮 〒340-0815 埼玉県八潮市八潮 5-11

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 松丸 賢一

担当者 : 塩原 裕之

Eメール : h_shiohara@tenjikousei.co.jp

TEL : 03-3605-5289 FAX : 03-3605-5278

(4) 事業活動の内容（認証・登録の範囲）

内装仕上工事業（展示会・イベントおよび店舗内装に関する企画・設計・施

対 象 範 囲 : 全組織・全活動

認証・登録番号 : 0007896

(5) 事業の規模

工事受注額 約 4.72 億円／2023 年度（2023.8～2024.7）

従業員数 23 名

本社延床面積 152 m²

SS 八潮延床面積 595 m²

【2】エコアクション21の対象範囲（認証・登録）

以下の全組織、全活動、全従業員を対象範囲としてエコアクション21に取り組んでいます。

① 組織：本社事務所、本社第1倉庫、SS八潮

② 活動：内装仕上工事業

（展示会・イベントおよび店舗内装に関する企画・設計・施工）

③ 従業員： 23人

【3】環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社が遵守しなければならない環境関連法規などとして、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東京都環境確保条例などがあります。

弊社では、これらの法規制遵守のために、弊社に關係する法規制などの一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しています。

なお、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟は過去3年間ありませんでした。

【4】環境経営方針

〈基本理念〉

私たちは、展示会・イベントや店舗内装工事を営む者として、ますます深刻化する地球温暖化や資源の枯渇への早急な対策が人類共通の課題であると認識します。

そのため、私たちは業務活動全般を通してエネルギーや資源の効率的な活用や、工事で発生した廃材の他用途への再生と再利用を積極的に推進するとともに、省エネ工法の開発や利用にも積極的に取り組み、地球環境保全活動に全力で取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境配慮型内装仕上工事の実績向上
2. 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
3. 廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
4. 水使用量の削減（水資源の保全）
5. 有害化学物質の削減（安全な社会へお対応）
6. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
7. 以上のことを確実にするため、環境経営システムとしてエコアクション21を導入し、その運用と環境経営の継続的改善に努めます。

制定日 2011年3月3日

改定日 2019年9月1日

改定日 2022年10月1日

株式会社 展示構成

代表取締役会長 吉村 勝博

【5】環境経営目標

5-1 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画一覧表

環境経営方針	環境経営目標			環境経営計画 (今年度目標を達成 する手段)
	テーマ	中長期目標	今年度目標	
		2024 年 8 月 ～ 2027 年 7 月 2024 年度～2026 年度	2023 年度 (2023 年 8 月 ～2024 年 7 月)	
1 二酸化炭素排出量の削減 (低炭素社会への対応)	全社(電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	節電及び 省エネ活動
	電力使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	節電活動
	化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	省エネ活動
2 排水量の削減 (水資源の保全)	総給水量の削減 (節水)	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (m ³)	節水活動
3 廃棄物の削減及び再資源 化推進 (循環型社会への対応)	産業廃棄物の排出量 削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	排出抑制と分別、資 源化の推進
	一般廃棄物の排出量 削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	排出抑制と分別、資 源化の推進
4 環境配慮型製品の開発	受注減少時に安定売 上を目指す商品開発	新商品の開発	新商品の開発	コロナ禍で必要な商 品の検討
5 環境関連法規制や当社が 約束したことを遵守	環境関連法規等の 遵守	年度内 1 回以上の 遵守チェック(回数)	年度内1回以上の 遵守チェック(回数)	法令等改正チェック と遵守監視、チェッ ク結果の記録作成

注)弊社では PRTR 法に該当する化学物質を使用しておりませんので、化学物質の削減目標は設定しておりません。

5-2 環境経営目標の達成状況の確認（実績）

環境経営目標 テーマ	今年度 環境経営目標	基準年 2022 年度 実績値	2023 年度 目標値	今年度実績値 2023 年度 (2023 年 8 月～ 2024 年 7 月)	達成率 $\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}}$
全社 (電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	59,179	58,587	57,186	102.4 %
電力使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	24,662	24,415	24,568	99.4 %
化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	34,516	34,171	32,618	104.8%
総給水量の削減 (節水)	前年度比 1.0%削減 (m ³)	336	333	315	105.7 %
産業廃棄物の排出量 の削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	97.5	96.5	92.7	104.1 %
一般廃棄物の排出量 の削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	0.60	0.59	0.58	101.7 %
環境配慮型製品 の開発	年度内1件	1 件	1 件	1 件	達成
環境関連法規等 の遵守	年度内1回の 遵守チェック(回数)	1 回	1 回	1 回	達成

電力の排出係数は、東京電力 2019 年度調整後排出係数 0.455(kg-CO2/kWh)を使用しています。

5-3 環境経営目標の実績評価

環境経営目標 テーマ	達成率	評価項目			
		目標の設定方法やレベルに問題点はなかったか	次年度の目標設定の考え方	取組方法の課題点 (目標との整合性)	次年度の取組方法の考え方 (目標との整合性)
全社(電力+化石燃料)二酸化炭素排出削減	102.4 %	問題なし	継続する	整合している	継続する
電力使用による二酸化炭素排出削減	99.4%	問題なし	継続する	整合している	継続する
化石燃料使用による二酸化炭素排出削減	104.8%	問題なし	継続する	整合している	継続する
総給水量の削減(節水)	105.7 %	基準値が低かった	継続する	整合している	継続する
産業廃棄物の排出量削減	104.1 %	受注量が多かった	継続する	整合している	継続する
一般廃棄物の排出量削減	101.7 %	受注量が多かった	継続する	整合している	継続する
環境配慮型製品の開発	達成	問題なし	継続する	整合している	継続する
環境関連法規等の遵守	達成	問題なし	継続する	整合している	継続する

【6】環境経営計画

6-1 環境経営計画の実施状況と取組結果の評価

環境経営目標 テーマ	達成率	目標の達成手段 (環境経営計画の 取組内容)	評価項目		
			スケジュール は守られたか	責任者・担当者は 決まっていたか	取組方法に問題 はなかったか
全社(電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	102.4%	節電及び省エネ活動	計画通り実施 された	事務部門リーダー及 び部門従業員	問題なし
電力使用による 二酸化炭素排出削減	99.4%	不要照明の消灯 クールビズ運動 設備の空運転防止 工程ロス削減による稼働 冷房28℃ 暖房20℃	計画通り実施 された	工事部門、営業部門 リーダー及び部門従 業員	問題なし
化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	104.8 %	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷暖房の控え目使用 燃費のよい車の購入(更 新時)	計画通り実施 された	工事部門、営業部門 リーダー及び部門従 業員	問題なし
総給水量の削減(節 水)	105.7%	節水活動	計画通りに実 施された	全部門リーダー及び 部門従業員	問題なし
産業廃棄物の排出量 削減	104.1%	排出抑制と分別、資源 化の推進	計画通り実施 された	工事部門、営業部門 リーダー及び従業員	問題なし
一般廃棄物の排出量 削減	101.7%	排出抑制と分別、資源 化の推進	計画通りに実 施された	事務部門リーダー及 び部門従業員	問題なし
環境配慮型製品の開 発	達成	コロナ禍対応商品の 検討等	計画通り実施 された	工事部門、営業部門 リーダー	問題なし
環境関連法規等の遵 守	達成	法令等改正チェックと 遵守監視、チェック結 果の記録作成	計画通りに実 施された	環境管理責任者及 び各部門リーダー	問題なし

6-2 次年度の取組内容について

環境経営目標 テーマ	目標の達成手段(環境経営計画取組内容)	
	今年度	次年度
全社(電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	節電及び省エネ活動	下記による
電力使用による 二酸化炭素排出削減	不要照明の消灯 クールビズ運動 設備の空運転防止 工程ロス削減による稼働時間短縮 冷房28℃ 暖房20℃	不要照明の消灯 クールビズ運動 設備の空運転防止 工程ロス削減による稼働時間短縮 冷房28℃ 暖房20℃
化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷暖房の控え目使用 燃費のよい車の購入(更新時)	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷暖房の控え目使用 燃費のよい車の購入(更新時)
総給水量の削減(節水)	節水活動	節水活動
産業廃棄物の排出量削減	排出抑制と分別、資源化の推進	排出抑制と分別、資源化の推進、 リース部材の推進
一般廃棄物の排出量削減	排出抑制と分別、資源化の推進	排出抑制と分別、資源化の推進
環境配慮型製品の開発	CO2 対応商品の検討等	CO2 対応商品の検討とその施工の受注
環境関連法規等の遵守	法令等改正チェックと遵守監視、 チェック結果の記録作成	活動終了以降にチェックする。

【7】代表者による全体評価と見直し・指示の結果

7-1 前回の指示への取組結果について

適切に対応されたことを認めます。

7-2 今回の評価結果について

環境経営目標 テーマ	達成率	評価項目		
		目標の設定方法や レベルの問題点につ いて	目標未達成の原因 について	改善点について
全社(電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	102.4 %	継続を指示し、引き続 き節電・省エネ活動の 推進を図る。	受注量の増加	毎日の継続が必要なので 朝礼等で再認識させる。積 極的な活動の推進。
電力使用による 二酸化炭素排出削減	99.4%			
化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	104.8 %			
総給水量の削減(節水)	105.7%	節水活動。	受注量の増加	節水活動強化。
産業廃棄物の排出量削 減	104.1%	継続を指示する。	受注量の増加	木工部材の再利用の強化 が必要。
一般廃棄物の排出量削 減	101.7 %			
環境配慮型製品の開発	達成	継続を指示する。	—	コロナ禍対応商品の検討。
環境関連法規等の遵守	達成	年1回は問題の無いペ ース。	—	特になし。

7-3 今回の指示について

項目	変更の必要性和指示事項
環境経営方針	変更の必要性はない。
環境経営目標	変更の必要性はない。
環境経営計画	変更の必要性はない。
実施体制	変更の必要性はない。

【8】記録の管理方法

環境関連の記録の管理については、環境管理の責任者が3年間保管し、以後は個人情報等のレベルと、リサイクルに配慮して方法を検討の上、廃棄することにしております。

【9】実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。 ・各部門ごとに一番使用しているとされる項目の削減に努める。

【10】次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営方針	環境経営目標			環境経営計画 (年度目標を達成する手段)
	テーマ	中長期目標	次年度目標	
		2025 年 8 月 ～ 2028 年 7 月 2025 年度～2027 年度	2024 年度 (2024 年 8 月 ～2025 年 7 月)	
1 二酸化炭素排出量の削減 (低炭素社会への対応)	全社(電力+化石燃料) 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	節電、省エネ活動 エコドライブ
	電力使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	節電、省エネ活動
	化石燃料使用による 二酸化炭素排出削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (kg-CO2/kWh)	エコドライブ
2 排水量の削減 (水資源の保全)	総給水量の削減 (節水)	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (m³)	節水活動
3 廃棄物の削減及び再資源 化推進(循環型社会への 対応)	産業廃棄物の排出量 削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	排出抑制と分別、資 源化の推進
	一般廃棄物の排出量 削減	前年度比 1.0%削減	前年度比 1.0%削減 (トン)	排出抑制と分別、資 源化の推進
4 環境配慮型製品の開発	受注減少時に安定売 上を目指す商品開発	新商品の開発	新商品の開発	Co2 発生抑制の商 品の検討
5 環境関連法規制や当社が 約束したことを遵守	環境関連法規等の 遵守	年 1 回以上の 遵守チェック(回数)	年1回以上の 遵守チェック(回数)	法令等改正チェック と遵守監視、チェッ ク結果の記録作成

注)弊社では PRTR 法に該当する化学物質を使用しておりませんので、化学物質の削減目標は設定しておりません。